



令和6年5月13日 14時00分
近畿地方整備局
国営飛鳥歴史公園事務所

国営飛鳥歴史公園 高松塚周辺地区 再整備方針を策定

～ 地区の将来像についての検討結果を公表します ～

国営 ^{あすか}飛鳥歴史公園 ^{たかまつづか}高松塚周辺地区(奈良県 ^{たかいちぐん}高市郡 ^{あすかむら}明日香村)について、今後のあり方を検討し、再整備方針のとりまとめを行いました。

今後、本方針にもとづき飛鳥地方における歴史的風土景観保存の拠点としての機能を充実させ、公園の魅力向上を図ってまいります。

■検討経緯

令和5年3月有識者や地元自治体等からなる「高松塚周辺地区再整備方針検討委員会」を設置し、当該委員会による議論の結果を踏まえ、策定を行いました。

※再整備方針の概要は別紙をご参照ください。

再整備方針および委員会の資料は事務所 HP で公表しています。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/asuka/initiatives-asuka/takamatuzuka.html>

<取扱い> _____

<配布場所>

近畿建設記者クラブ

大手前記者クラブ

奈良県政・経済記者クラブ

奈良県文化教育記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所

調査設計課長 ^{しまざき あつし}島崎 敦

総務課長 ^{なかもり さおり}中森 紗織

電話 0744-54-2662(代)

国営飛鳥歴史公園 高松塚周辺地区 再整備方針(令和6年5月策定) の概要

- 高松塚周辺地区(昭和60年開園)について、施設の老朽化等の進行や、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界文化遺産登録に向けた取組等の周辺状況の変化を踏まえ、有識者委員会(※)において再整備の方向性を検討。
 - 当初の基本計画(昭和52年策定)を尊重しながら、改めて課題を整理した上で、3つの再整備方針およびその実現のための取組事項を設定。今後本方針に基づき再整備を推進。
- (※)高松塚周辺地区再整備方針検討委員会(委員長:小野 良平 立教大学教授)

高松塚周辺地区の整備経緯

昭和48年	高松塚古墳が特別史跡に指定
昭和51年	国営公園としての整備が閣議決定
昭和52年	基本計画・基本設計の策定
昭和60年	開園
平成19年	文化庁により壁画保存管理施設(仮設)設置
令和2年	文化庁による壁画修復完了



国営飛鳥歴史公園 高松塚周辺地区 位置図

○課題

- (1)飛鳥地方における遺跡を含む地域の成立過程や、往時の社会・文化的背景をより深く認識できるような公園として、その質を高めることが必要
- (2)当地区をとりまく、飛鳥地方全体の状況の変化への対応が必要
- (3)既存施設老朽化等の進行への対応が必要



特別史跡高松塚古墳



国営飛鳥歴史公園館

○再整備方針

- 方針Ⅰ：遺跡を含む地域の成立過程や往時の社会・文化的背景を知り、文化財の保存の意義と重要性をより深く体感できるようなランドスケープの形成を図る
- 方針Ⅱ：飛鳥地方全体のゲートウェイとしての機能の向上を図る
- 方針Ⅲ：老朽化に伴う施設の更新にあわせ、安全性や快適性の向上を図る

○取組事項(抜粋)

- ・飛鳥地方全体に展開する歴史体感ストーリーの構築とそれに沿った案内・展示機能の充実および分かり易い動線の設定
- ・古墳への見通しや展望地からの眺望確保、里山景観の魅力維持のための樹木の除伐や更新
- ・文化庁による高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設(仮称)設置への協力とそれに併せた国営飛鳥歴史公園館の更新
- ・老朽化した公園施設等の再整備